

湾岸アラブ諸国書店案内 ——クウェート編——

平松亜衣子*・堀抜功二**

0. はじめに

クウェートは、湾岸アラブ諸国のなかでは比較的自由的な報道および出版が認められてきた国である。歴史的にみると、出版物への検閲法が定められた時期もあった。しかし、現在ではアラビア語の学術書などの多くは流通可能であり、クウェート国内で出版された書籍はもちろんのこと、他の湾岸アラブ諸国やレバノン、エジプトで出版された書籍も広く流通している。

英国から独立した1961年の翌年、クウェート憲法が發布された。そのなかで、クウェートの政治体制は民主主義であると規定している。そのため、民主主義にとって重要である自由な討議を認めていることから、政府の政策を非難する内容を含む出版物も多くみられる。また、このような政治的状況を反映してなのか、他の湾岸アラブ諸国に比べて民主主義や議会政治をテーマとした文献が多く出版されている。ただし、「政府」や「政策」に対する批判を表明することは許容されていても、首長家による統治そのものへの批判は許されていない。

以下では、クウェート市中心部およびハワッリー地区の書店を紹介する。なお、研究のための史資料、および学術雑誌はクウェート大学などの研究機関にも所蔵されているが、それらについては別稿にて紹介したい。本案内のデータは、平松が2008年5月および7月に行った現地調査、堀抜が2008年2月に行った現地調査の内容をもとに作成している。

クウェートの書店を訪れるにあたっては、営業時間に注意されたい。2008年より、クウェートの休日は木・金曜日から金・土曜日に変更された。平日にあたる日曜日から木曜日は、大学・公共機関の業務時間は午後2時までである。書店の場合、午後1時から午後4時まで昼休みをとる店が多い。

1. クウェート市中心部

クウェート市中心部の書店では、アラビア語書籍のほかに、英語で書かれたものも多く販売されている。また、クウェートの労働事情を反映して、販売員は他のアジア諸国からの外国人労働者であることが多い。そのため、市内中心部の書店では英語が通じるが、アラビア語書籍については不案内であることもある。以下では、クウェート市内中心部にある主要な書店を紹介する。

① クウェート書店 (Sharika al-Maktabāt al-Kuwaytiya)

市内中心部にある、ムサンナー・コンプレックスの地下1階にある書店で、アラビア語書籍のほか、

* 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科

** 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科 日本学術振興会特別研究員 (DC)

英語書籍や雑誌、地図、クウェートの法律解説書、児童向け学習用の本、文具などを取り扱っている。関係者の間では、クウェート市中心部であれば、まずはこの書店に足を運べと言われる。アラビア語と英語の書籍の取扱数は半々程度である。研究書の扱いは多いとはいええないものの、辞典や地図など研究のための基本的な情報を集めるには使い勝手のよい書店である。



② マルジャーフ出版・販売会社 (Mu'assasa al-Marjah li-l-Nashr wa al-Tawzi')

シャリカ・バイトゥ・アウラドゥナー (Sharika Bayt Aawlādna) という大きなビルの近くに位置する小さな書店。本が乱雑に積んであったが、政治系の書籍が豊富という印象を受けた。クウェート大学で教鞭をとるムハンマド・エル＝セリーム先生（政治学）によれば、海外から来た研究者を必ずこの書店に連れてくるとのことであった。



2. ハワッリー (Hawalli) 地区

ハワッリー地区は、古くから多くの書店が軒を連ねる地区として知られている。そのため、アラビア語の学術文献を探す場合は、クウェート中心部よりもハワッリー地区の書店で探す必要がある。宗教や歴史から、政治、経済まで、幅広い分野について国内外で出版された書籍が集まっている。

ハワッリー地区のなかでも、グタイバ(Qutayba)通りに比較的多くの書店が立ち並んでいる。通常、書店は午後1時ごろから4時ごろまで昼休みをとるのが一般的であるが、ハワッリー地区では朝早くから夜遅くまで店を開けている書店もある。ただし、本屋の看板を下げていても、新聞や雑誌、文房具程度しか扱っていない店も多いことに注意されたい。

③ バクル書店 (Maktaba al-Bakr)

店舗は、1階と地下は文房具、2階は書籍のコーナーになっている。すでに述べたように、クウェートは湾岸アラブ諸国の中でも国内政治関係の出版も多く流通している。筆者は、クウェート議会の歴代議員名簿2巻本 (*Ruwwād al-Dimuqrāṭiyya fi al-Kuwayt min 1921-1996, 1999-2003*) を入手した。ちなみに、本書はバクル書店以外では見かけることがなかった。



④ サフワ書店 (Maktaba al-Şaḥwa)

主として、イスラームに関する書籍を扱っている。クルアーンや法学書、イスラームに関する小物などを販売している。



⑤ ウジャイリー書店 (Maktaba al-'Ujayrī)

ハワッリー地区のなかでも、規模・質ともに充実した書店である。文具全般も扱っているが、研究書の品揃えは地区のなかで最も豊富ではないだろうか。とくに、クウェートの歴史・政治・法律関連の書籍が多い。ウジャイリー書店の棚を見れば、現地の研究動向を把握することができると言っても過言ではない。



筆者はここで、クウェートにおけるサラフィー主義団体に関する書籍 (*al-Jamā'a al-Salafiya fi al-Kuwayt*) や、同じくムスリム同胞団に関する書籍 (*Jamā'a al-Ikhwān al-Muslimīn fi al-Kuwayt*) などを入手した。一連の著作は、クウェートを代表する政治研究者の一人であるファラーフ・アブドゥッラー・ムダイリス博士 (Falāḥ 'Abdullāh al-Mudayris) によるものである。通常、他国では「反政府」的とみなされるような組織に関する書籍が一般的に流通していることから、クウェートが思想の表明に対して比較的寛容な姿勢をとっていることが伺える。

⑥ ファラーフ書店 (Maktaba al-Falāḥ)

アラビア語で出版された学術書の専門店。クウェート政治関係の書籍は扱っていないものの、アラブ諸国全般の政治研究書や歴史、科学書などは豊富に取りそろえている。



⑦ ジャリール書店 (Maktaba Jarīr)

湾岸アラブ諸国に展開している、サウディアラビア資本のチェーン店。クウェートの他にも、サウディアラビア、アラブ首長国連邦 (アブダビ)、カタルなどに支店を持つ。店舗は遊園地の敷地内にあり、ハワッリー地区のなかではめずらしく、英語の書籍も取り扱っている。クウェート国内のほか、周辺諸国の地図の取扱いも多い。クウェートの住宅地図といった特殊な地図を見つけることができる。



また、書店というよりは大型文具店といった印象が強く、多様な文房具のほかにもパソコン関係の商品やカバンなど幅広い商品を扱う。また、取り扱っている商品のカタログがあり、電話やインターネットでの注文が可能である。

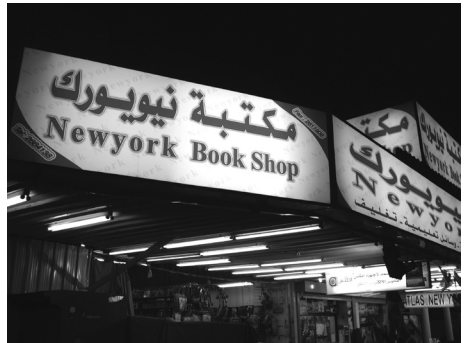
⑧ ロンドン書店 (Maktaba Landan)



小規模の書店が立ち並ぶハワッリー地区のなかでは、比較的規模の大きな書店であり、学術書も充実している。クウェートの政治団体史に関する研究書 (*al-Jamā'āt al-Siyāsīya al-Kuwaytīya fī qarn 1910-2007*) を入手した。

⑨ ニューヨーク書店 (Maktaba Niyūyürk)

当店は、文具や欧米の雑誌なども取り扱っている。学術書の品揃えは豊富とはいえないが、いくつか興味深い書籍も見受けられた。ロンドンブックショップの近くにある。

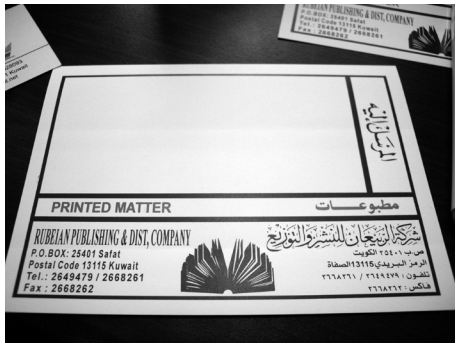


⑩ ウルーバ書店 (Maktaba Dār al-'Urūba li-l-Nashr wa al-Tawzī')

法学、宗教、思想、政治関連の文献など、当書店で扱われている書籍はほぼすべて学術書・専門書の類である。古くからある書店のようで、所蔵数も他の書店と比べてみても多く、扱っている書籍の分野も広い。したがって、研究書を手入れしたい場合には是非、一度足を運ぶことをお勧めしたい書店である。



3. 書籍の郵送について



購入した書籍は、郵便局から日本に郵送することができる。事前に梱包業者に依頼して5kgずつの包みにする必要がある。ハワッリー地区のイブン・ハルドゥーン通りに al-Rubeian Publishing & Distributing という会社があり、そこで梱包を依頼することができる(電話番号：2668261 / 2649479)。

4. おわりに

本案内では、クウェート市内中心部と古くからの書店街であったハワッリー地区の書店、そして書籍の流通事情について紹介した。クウェートでは、歴史や法律、政治、経済といった幅広い分野の研究書が入手できる。新聞各紙についても、民間で発行されている日刊紙が数多く存在し、これらの紙面には、政府の政策批判や汚職を糾弾する論説などが日常的に掲載されている。

筆者の専門分野は、湾岸アラブ諸国の政治経済であるが、そのような観点からクウェートにおける書籍の流通事情の特徴として、以下の点が指摘できる。すなわち、クウェートでは他の湾岸アラブ諸国と比べると、議会に関する書籍や、いわゆる政府に対抗する政治勢力について書かれた文献が、一般に流通しているという点である。本文中では、これらの分野の文献を中心に紹介している。

その他の書籍の入手機会としては、毎年開催されているブックフェアなどがある。また、クウェート大学の各学部および附属研究所の図書館、クウェート大学出版部、議会図書館、国立図書館に関しては、稿を改めて紹介することにした。

※現地書店状況の調査に際し、保坂修司氏(近畿大学)、門屋由紀氏(在クウェート日本国大使館)、石黒大岳氏(神戸大学)の諸氏から貴重な情報の提供を受けた。ここに記して謝意を示すものである。

5. 情報+地図

① クウェート書店 (Sharika al-Maktabāt al-Kuwaytiya)

営業時間：8：00～13：30、16：00～21：00

電話番号・Fax：(電話) +965-2424266、+965-2424289 / (Fax) +965-2420558

ウェブページ：<http://www.alhootaa.com/pages/kuwaitLibrary.htm>

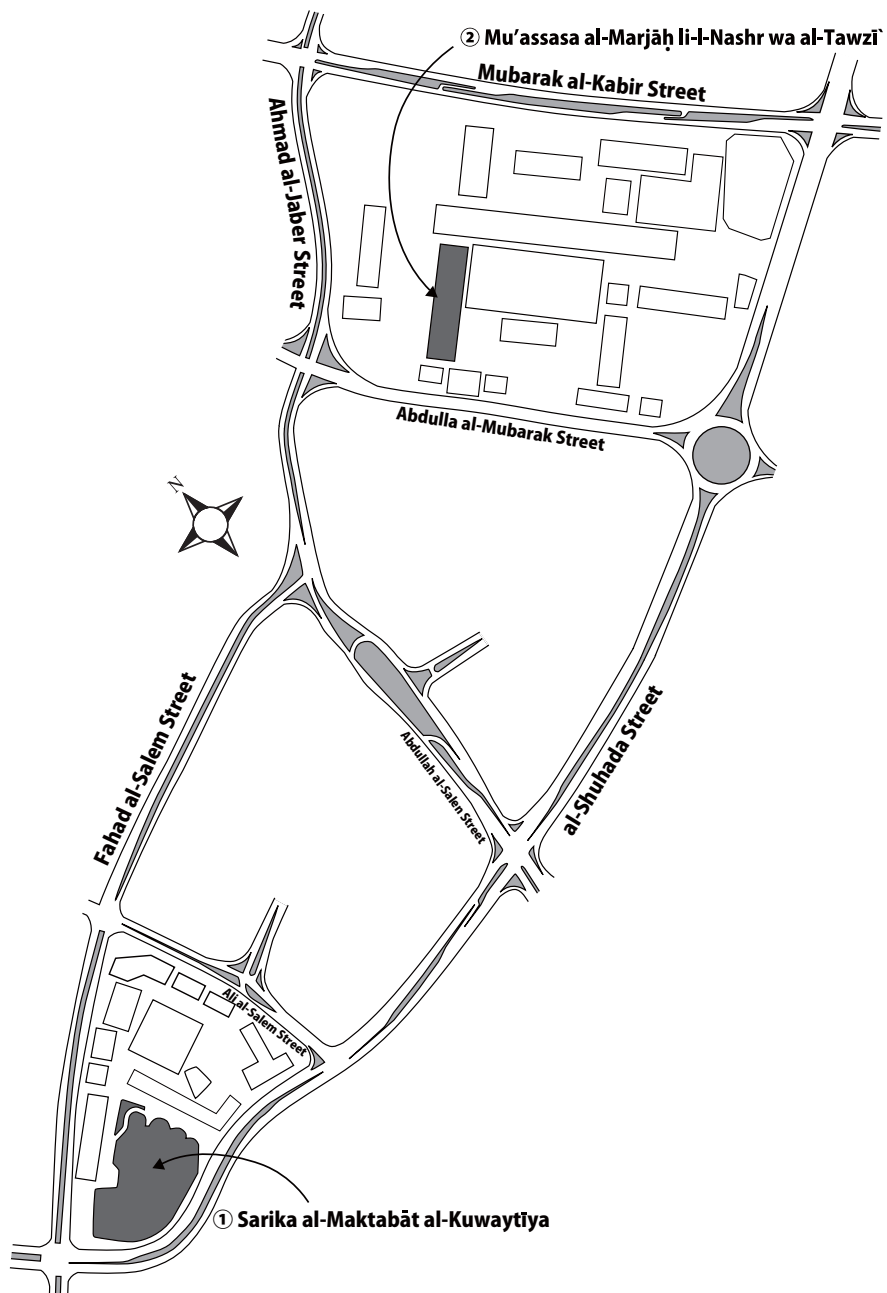
住所：Fahad Al Salem Street, Safat, 13034、ムサンナー・コンプレックス地下1階

- ② マルジャーフ出版・販売会社 (Mu'assasa al-Marjāh li-l-Nashr wa al-Tawzī')
電話番号・Fax：(電話) +965-2446052 / +965-9838907、(Fax) +965-2446052
住所：Kuwait, Fahad Al-Salem, a large market
P. O. Box. 1201 Kheitan, Postal Code Number: 83001
- ③ バクル書店 (Maktaba al-Bakr)
営業時間：8：00～23：50
電話番号・Fax：(電話 / Fax) +965-2616559
E-mail：bakrbookshop@yahoo.com
- ④ サフワ書店 (Maktaba al-Şahwa)
営業時間：8：30～13：00、16：00～22：00
電話番号・Fax：(電話) +965-2617084 / +965-2611006、(Fax) +965-2668665
- ⑤ ウジャイリー書店 (Maktaba al-'Ujayrī)
営業時間：6：00～(翌日深夜) 1：00
電話番号・Fax：(電話) +965-2613749 / +965-2618415、(Fax) +965-2642765
住所：P.O.Box. 1552, Hawalli
- ⑥ ファラーフ書店 (Maktaba al-Falāh)
営業時間：7：00～13：00、16：00～21：00
電話番号・Fax：(電話) +965-2641985、(Fax) +965-2647784
- ⑦ ジャリール書店 (Maktaba Jarīr)
営業時間：8：00～21：00
電話番号・Fax：(電話) +965-2610111、(Fax) +965-2650232
E-mail：www.jarirbookstore.com / (問合せ) os-1401@jarirbookstore.com
- ⑧ ロンドン書店 (Maktaba Landan)
営業時間：6：30～(翌日深夜) 1：00
電話番号・Fax：(電話) +965-2655416、+965-2655079、(Fax) +965-2655079
E-mail：newyorkbs@hotmail.com
- ⑨ ニューヨーク書店 (Maktaba Niyūyürk)
営業時間：6：30～24：00
電話番号・Fax：(電話) +965-2611908 / +965-2664138、(Fax) +965-2611908
E-mail：newyorkbs@hotmail.com
- ⑩ ウルーバ書店 (Maktaba Dār al-'Urūba li-l-Nashr wa al-Tawzī')
営業時間：8：00～13：00、16：00～21：00

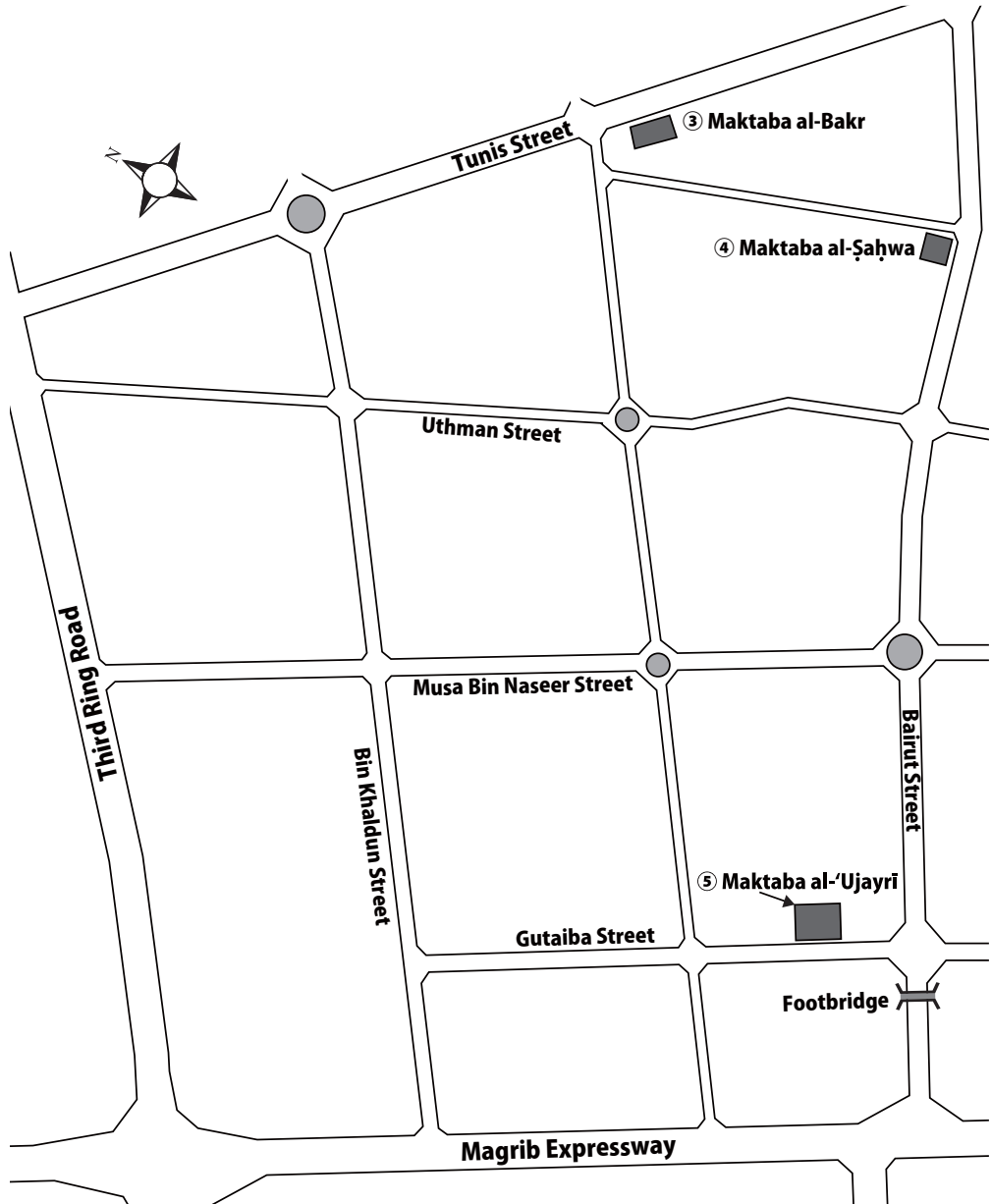
電話番号・Fax : (電話) +965-2664626、(Fax) +965-2610742

E-mail : aloroba_kw@yahoo.com

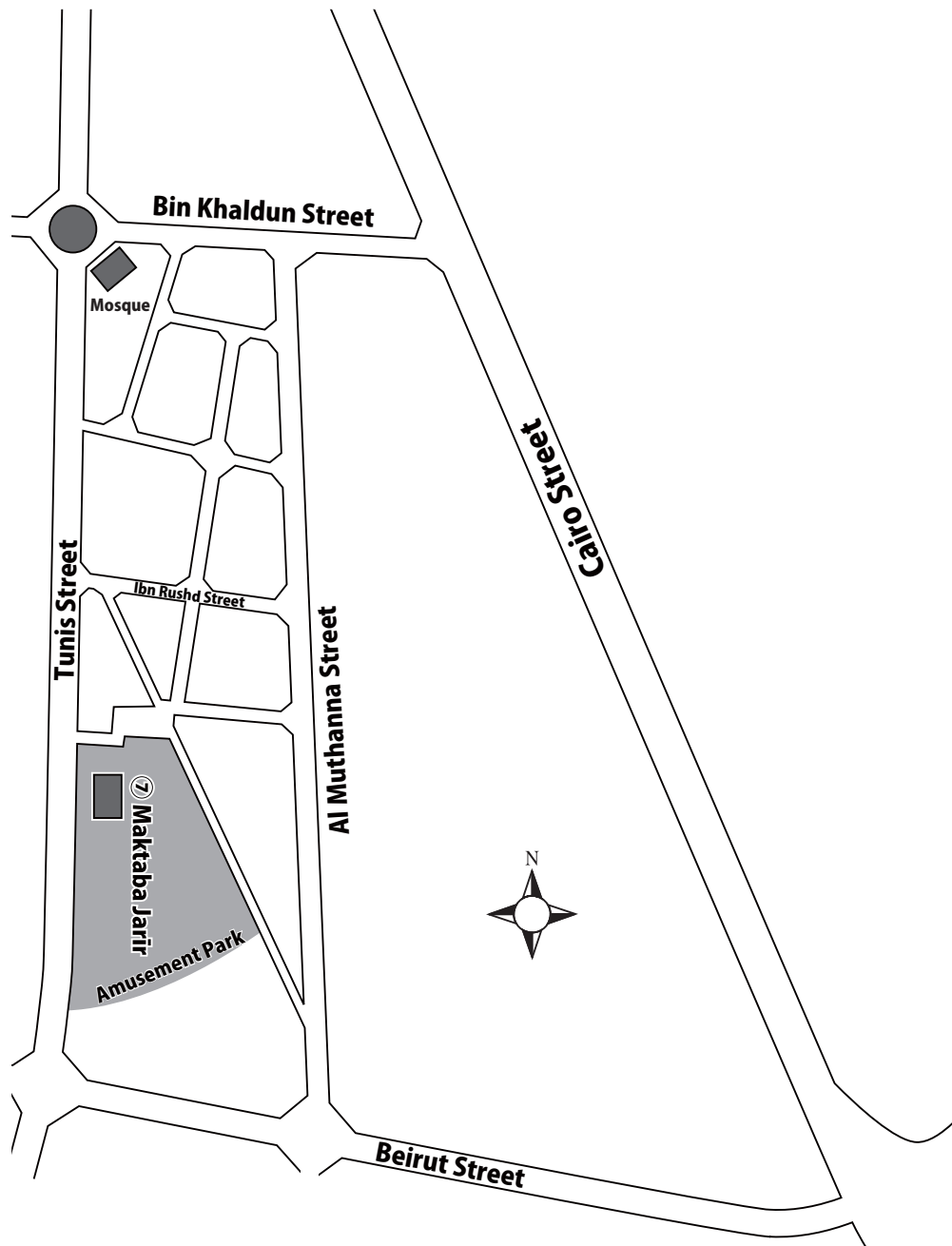
地図1



地図2



地図3



地図 4

